
ポケ常

ムウマーヂ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ポケ常

【Nコード】

N7165X

【作者名】

ムウマージ

【あらすじ】

ムウマージが送る！ただギャグ小説なのか？そんな小説がきますた！

この小説じゃあ、台本形式+メタ発言当たり前！

カオスワールド作ってみたぜ、ヒヤッハー！

公式設定なんてなかった！そんな勢いを貫く！

ついでに疑問に思うポケモンの謎、解明してみようじゃねえか！（自分の脳で

という訳で、皆様からのポケモンの疑問をドシドシ送ってきてくだ

さい！

宛先は感想、メッセージで宜しく！

ポケモンの疑問、名前、この小説についての意見をそえて、送ってください！

あなたの疑問がこの小説の推進力となる！

なぜこの発想に至ったのか20文字以内で詳しく(前書き)

はいどうもみなさんこんにゃにゃちわ

ムウマージです

このカオスな小説(仮)にきていただきありがとうございます

ここでは、読者からのポケモンの疑問を募集しております

ついでにメタ発言有りです

台本形式です

それではどうぞぞぞ

なぜこの発想に至ったのか20文字以内で詳しく

ポケ常 どうしてこの発想に至ったのか20文字いなくて詳しく

20xx年 世界は核の炎に……ってこの流れわかる人いんのか
おい……
と、まあ冗談はおいといてだ

2011年とある田舎に2人の兄弟が居たりした
兄の方は、ジユプトルで、名前は優斗で、ゲーマーだったりして、
完全平和主義者、攻撃技なんて全然つかえましえん
で、弟の方はキモリで、名前は幸田でしっかり者でツッコミが得意、
技はきつちり使えます 兄より優れた弟とかいるんだなそれが！

優斗「はい、俺の勝ち」

幸田「くう……お兄ちゃん、そんなに強いんだがら、僕相手じゃ
なくていいじゃん」

優「先にやろうと言ってきたのは誰だ」

幸「お兄ちゃんだよ」

優「違うだろ、そっちだろうが」

幸「違うよ！だって、1週間前にやろうって言ったのお兄ちゃんの方じゃん！」

優「ちげーよ！おまえの方が8日前にやろうって言って、それで俺

は断つたんだよ！」

幸「じゃあ、お兄ちゃんの方じゃん・・・」

優「そうだったか・・・」

幸「そうじゃない」

優「ああ、もうどこちでもいいや、次やるつか」

幸「今度こそやってやんよ！」

優「返り討ちじゃ、ゴルァ！」

ム「さすが公式チートのメタ様やでえ・・・」

優「ぬおっ！いきなりぬるりと出てくんな！家族団欒ぶちこわす気か!？」

幸「というか、いつも通りの風景なんだけど」

ム「わりとどうでもいい、ていうか、お前らに頼みごとがあっただな・・・」

優「頼み事？勿論なんかくれるんだろうな」

ム「金ならこの前、お小遣いの2000を課金に使った！」

優「じゃ、やらん」

ム「こいつ・・・マスパ食らわせてやるつか」

優「んなもんでできるはずなかるう・・・」

ム「ほう・・・言ったな・・・(ガシャン!)」

優「待て待て!、レールガンとかんな物どっから出してきた!？」

ム「3次元ポケット」

幸「つまりわざわざ持ってきたと」

ム「さあ!どうする!やるか!？断ったら、この家ごとトーンだからな!？」

幸「お兄ちゃん・・・」

優「だあー!!もう!わかったよ!やりゃあいいんだろ!やりゃあ!」

ム「それでよし」

優「で?なにやりゃあいいんだ?」

ム「謎を解明してもらいます」

優「・・・は?DOYUKOOTO?」

(ガシャン!)

優「わかった、わかったから家壊すな」

優「もう少し分かりやすく言ってくれ」

ム「つまりだ！ポケモンの謎を解明してもらうんだ！」

優「エー……ていうか謎を解明するってどんな……？」

ム「それはだな……まず、これ見てる方々に聞くんだ、ポケモンについて気になってる事をさ」

優「ほうほう……」

ム「で、来たら、そのポケモンに会いに行ってもらい、聞いてくるんだ」

優「……まんどくせえ……」

(ガシャン)

優「わかった、わかったから家だけは壊すな」

幸「この下り何回やるんだろうか……」

優「でさ、会いに行くって言うっても電車賃とか、その他諸々はどうすんだよ」

ム「ポケモンの癖に金の話すんなや」

優「いいだろうが！？だって、さっきからメタ発言しまくりだぜ！
？もうなんでもありでいいじゃん！」

ム「・・・まあ、いいか、そういう問題は小説だからできる事って
事で！」

幸「さすが小説」

優「・・・わかった、金の件はそっちが負担って事ね？」

ム「いや、自腹で」

優「どっちじゃあ！？」

ム「だあああ！うるさい！とりあえず、やれ！以上！」

優「んな身勝手な！」

完

優「・・・え？まじ行かんと行けんの？」

幸「といつかこなかったらどうする気なんだろう・・・」

なぜこの発想に至ったのか20文字以内で詳しく(後書き)

はい完)

皆様！疑問等宜しくお願いします！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7165x/>

ポケ常

2011年11月12日13時16分発行